

森林・林業DXによる民有林集約化を通じた J-クレジット創出・豊かな森づくり

2023年3月8日

NTT西日本

会社概要



地域通信事業



地域創生



地域創生Coデザイン研究所

クラウド



コンテンツ
流通



総合ICT事業



ドコモグループ

国際
通信



Sier



グローバル・ ソリューション事業



NTT Data



不動産、エネルギー等



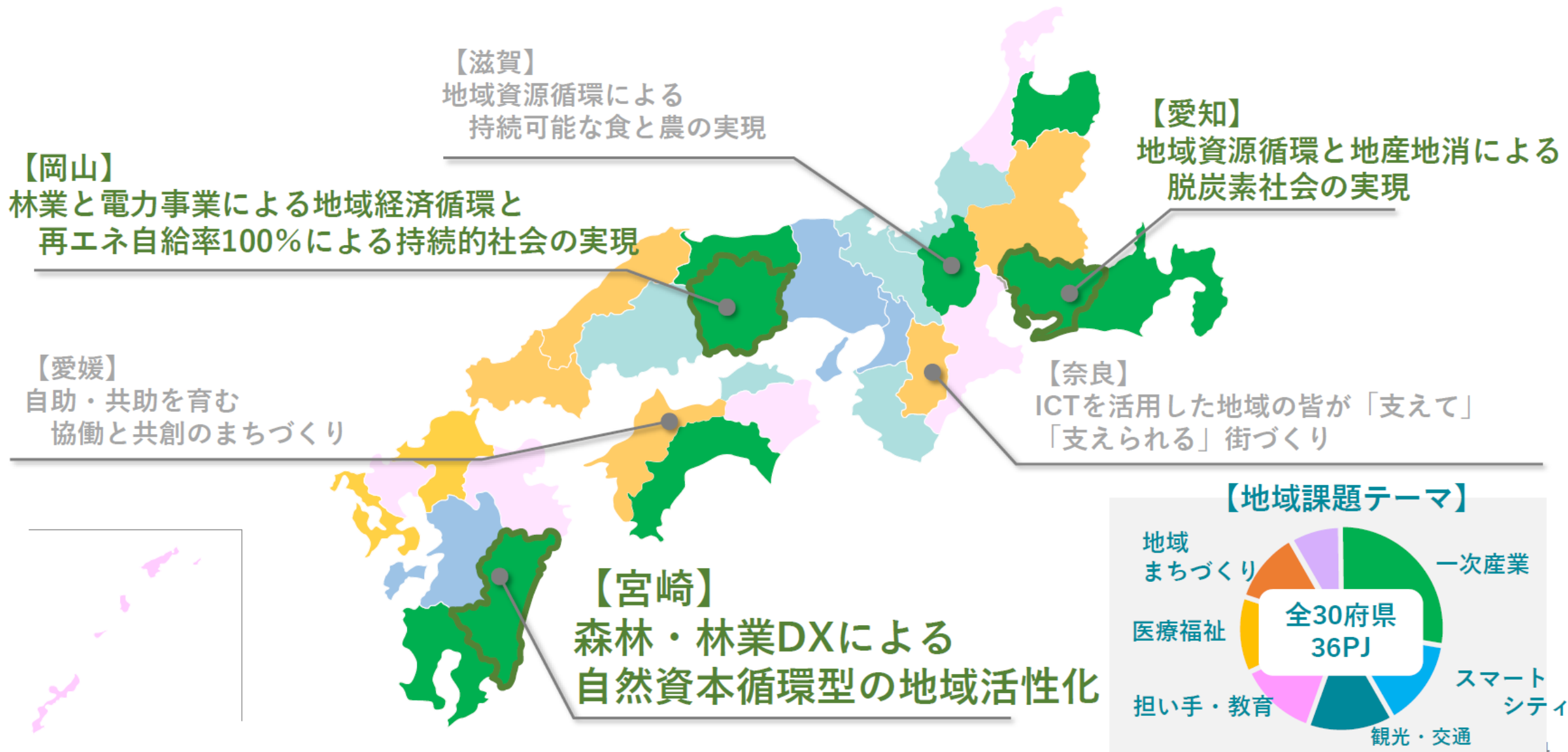
地域創生プロジェクトの推進モデル (2019年9月～)

西日本エリア全30府県で
地域の社会課題解決を通じて地域活性化に貢献



主な地域創生プロジェクト

➤ 一次産業、スマートシティ、地域まちづくり等、地域課題を**解決・共創**するプロジェクトを展開



森林・林業DX推進体制

- 宮崎県内における森林・林業関係団体により構成する「**森林・林業DX推進協議会**」を設置
- 産官学連携により、地域課題に対して関係者と共創・実証を推進

凡例：J-クレジット創出の役割

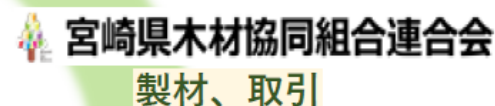
協議会運営

- ・先進的な ICT 活用事例創出、
- ・森林組合のスマート林業推進支援



実証フィールドの提供

- ・J-クレジットのPJ登録支援
- ・森林所有者対応



森林・林業DX推進協議会

カーボンクレジット活用による持続可能な森づくり
及び 地域活性化モデルの企画

産



森林施業

J-クレジットのPJ実施主体

- ・先進的な ICT 活用による民有林集約
- ・森林所有者対応

学



協議会運営

- ・先進的な ICT 提供による J-クレジットのPJ登録支援
- ・持続可能な森づくり、地域活性化モデルの企画



地域創生Coデザイン研究所

森林・林業DX全体像

➤ 森林の健全なライフサイクルに基づいて、川上～川下にかかる①～⑨のサプライチェーンをデータでつなぎ、林業関係者の課題を解決することにより、地域活性化・社会課題解決に貢献

川上・川中課題

①森林所有者

- ・森林の場所、生育、資産価値が不明
- ・伐っても儲からない

②自治体

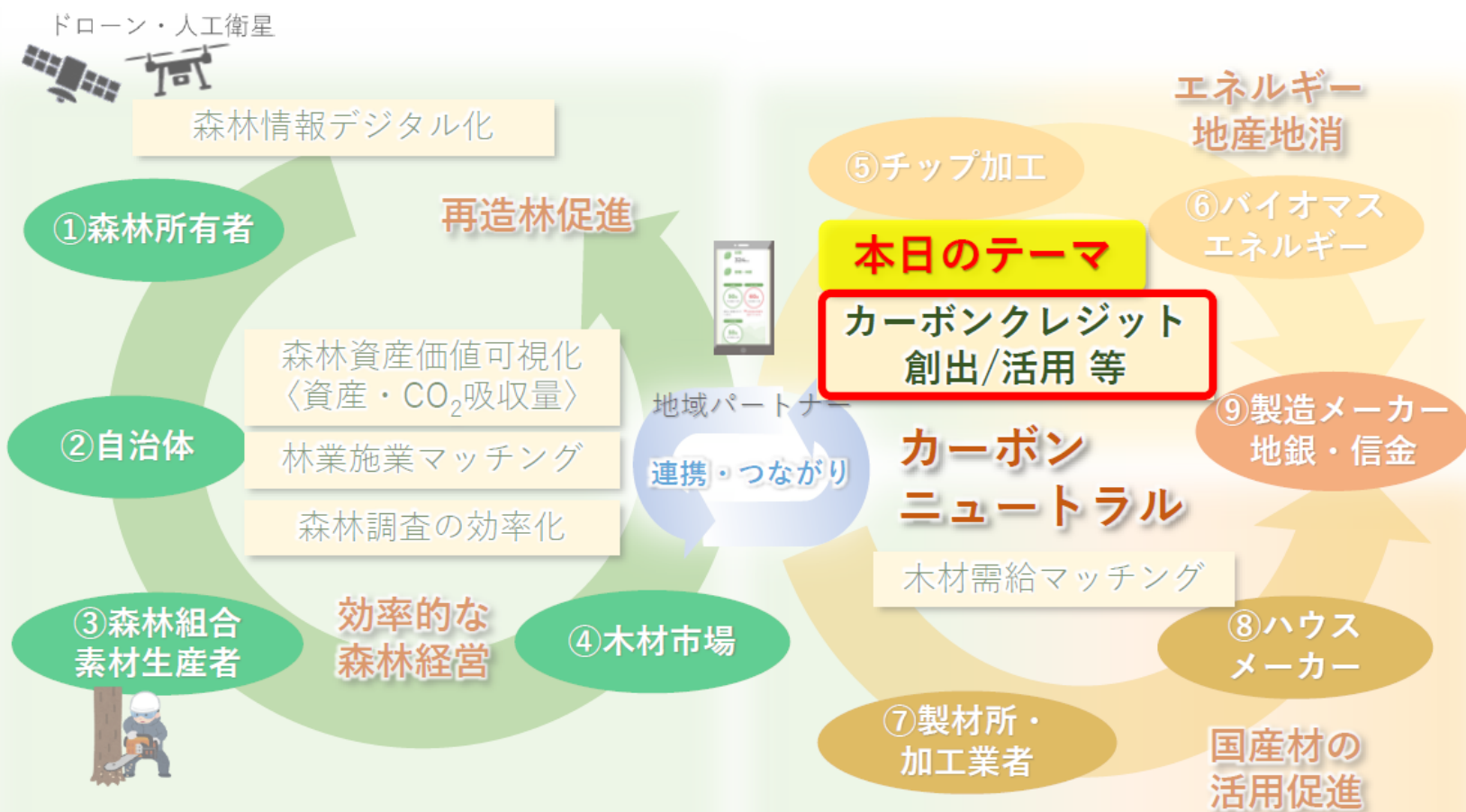
- ・計画的な森林経営管理ができない
- ・林道整備計画が立てられない

③森林組合関連

- ・森林調査に手間がかかる(労働集約型)
- ・需要が不明、計画がたたない

④木材市場

- ・需要が不明、供給(現物)取引



川下課題

⑤⑥チップ/バイオマス発電

- ・C/D材の供給量やその時期が不安定
- ・供給(現物)取引

⑨製造メーカー/地銀

- ・まとまった量のクレジットが手に入らない
- ・クレジットの信頼性が不安

⑦⑧製材所/ハウスメーカー

- ・A/B材の供給量やその時期が不安定(供給情報不明)
- ・供給(現物)取引

森林の価値向上 ～カーボンクレジット創出/活用～

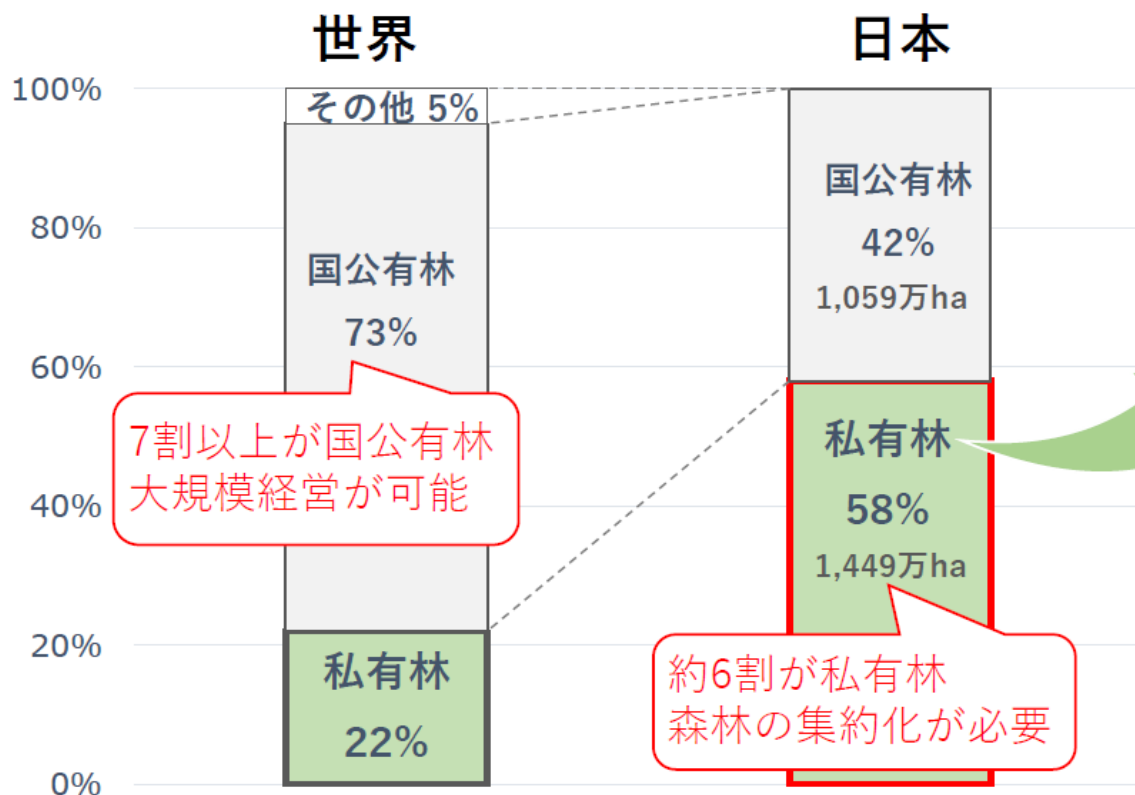
- ▶ クラウドを活用し中長期の森林計画に基づいた適切な森林経営を推進することで、**信頼性の高いクレジットの創出**が可能となり、新たな価値創造につなげる
- ▶ これまで森に馴染みのなかった企業や投資家とのつながりを形成し**産業の活性化に貢献**



日本の森林所有の現状

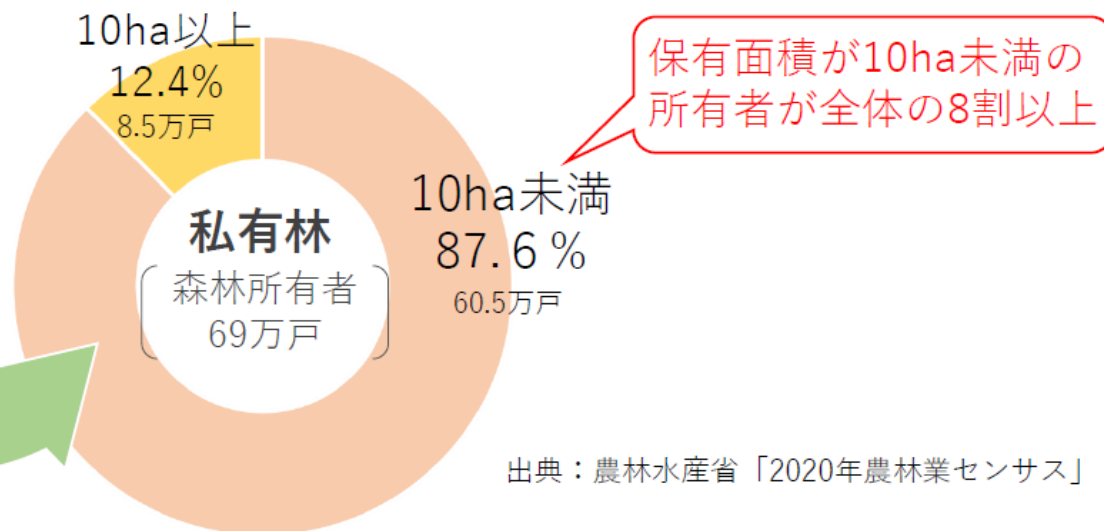
- ▶ 世界の森林と比較しても、日本の森林は私有林が多く小規模経営となっている
- ▶ 所有森林への興味関心が薄れ、持続的な森林経営が困難に

■森林所有形態



出典：「市町村主体の森林整備」の具体策（案）について（2017年5月）
世界森林資源評価2020主な調査結果（仮訳）

■私有林の小規模経営



出典：農林水産省「2020年農林業センサス」

（森林所有者の境界に関する声）

- ・ 自分の山がどこにあるかわからない 54%
- ・ 高齢のため現場への立会いができない 32%
- ・ 境界線を明確化するのに費用が掛かる 27%
- ・ お隣の所有者がわからない 26%
- ・ 自治体の地籍調査が進まない 23%

出典：「農林水産統計」（2021年2月）

所有森林の可視化

➤ 森林所有者等は自身の森林の現状を認識し、新たな森林整備／伐採などの機会創出



自分の森林がどこに
何があるかがわかる！

- ・自分の森林の面積や生育する樹種、本数、材積を可視化
- ・境界線立ち合い前に、ネット上で境界面の確認が可能

森林クラウド個人画面イメージ



自分の森林の
資産価値がわかる！

- ・資産価値やCO₂の吸収量を可視化
- ・伐採＋再造林によるCO₂吸収量維持/増加効果を可視化

立木取引関連

施業入札情報		
取引ID	地番	取引状況
2:	●●●●●●●●●● X-X-X	入札中 詳細へ
1:	●●●●●●●●●● X-X-X	取引不成立 詳細へ
1:	●●●●●●●●●● X-X-X	取引不成立 詳細へ

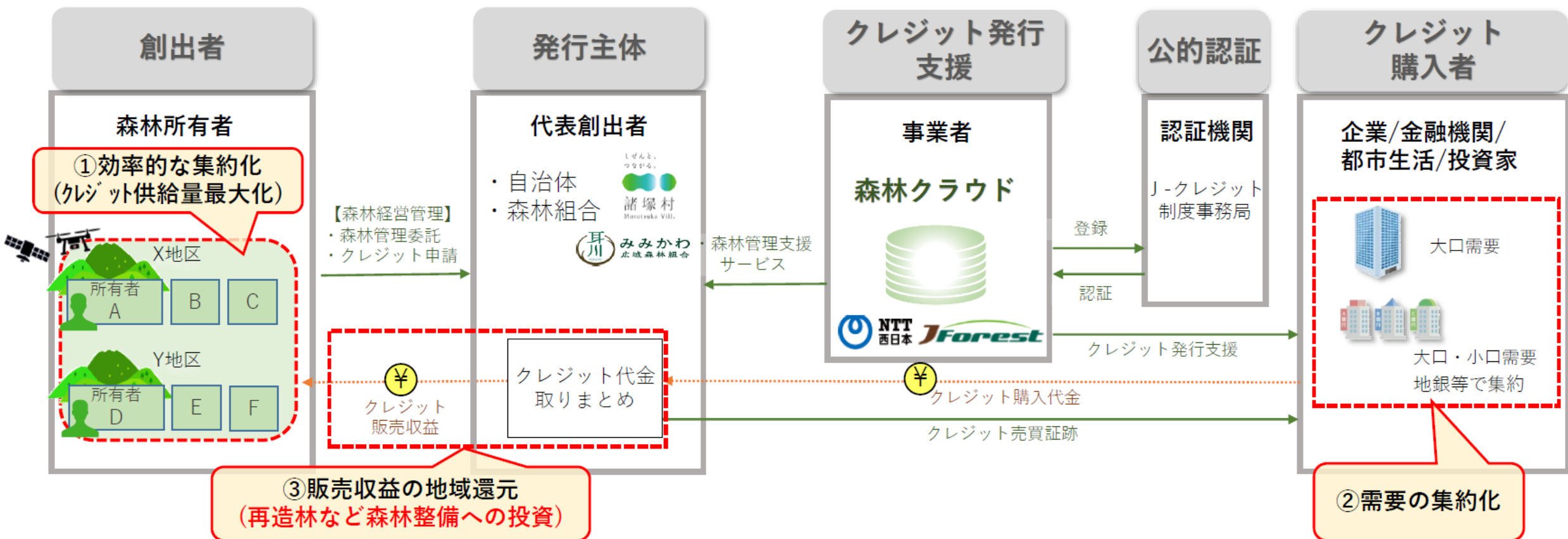
立木施業入札ができる施業依頼を探す
[立木施業依頼を見る](#)

提案情報			
取引ID	地番	提案内容	取引状況
26	●●●●●●●●●● 1	立木買取	承認 詳細へ
25	●●●●●●●●●● X-X-X	間伐	提案中 詳細へ
24	●●●●●●●●●● X-X-X	5の巻	却下 詳細へ

立木提案ができる山林情報を探す
[山林情報検索をする](#)

クラウド活用による付加価値創出

- ▶ 森林のデータをICTを活用し**集約化**することにより、**J-クレジット供給量を最大化** (①)、コミュニケーション機能の活用により所有者との合意等を効率化
- ▶ 需要を満たす供給量の創出に加え、**需要の集約化** (②) も促進することで、需給マッチングを実現
- ▶ **販売収益を地域に還元** (③) する仕組みを構築し、**所有者の森林経営意欲向上**を促進



地域の豊かな森と都市・海外のつながり

- ▶ 自然資本である森林は、健全なライフサイクルによって「豊かな森の恵み」を創出
- ▶ 山づくりのプロセスやストーリーに「ひと・資金・技術」を還流させ、地域と都市がこれまで以上につながる事が重要

地域

都市・海外

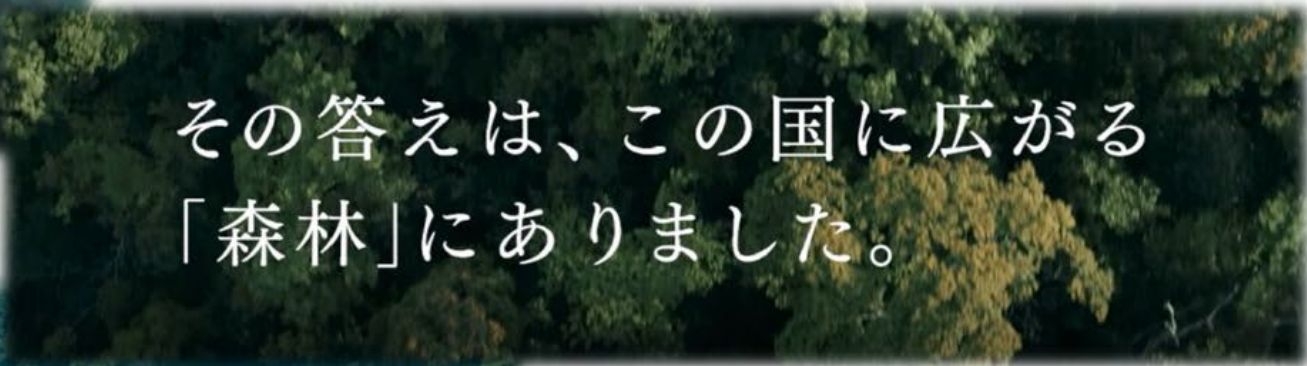




森林林業dx



事例動画



The background of the entire image shows two hands, one from the left and one from the right, holding each other. The scene is set against a bright, golden sunset or sunrise, with the sun low on the horizon, creating a strong lens flare and illuminating the hands from behind. The overall mood is warm, hopeful, and supportive.

「つなぐ」その先に「ひらく」 あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、新たな価値の共創に挑戦します。

○本件問合せ先
地域創生Coデザイン研究所 GX/一次産業
(NTT西日本グループ)

E-mail : vitamin-a@west.ntt.co.jp

WEB : <https://codips.jp/>